

Q&A

一般質問

市政のそこが聞きたい!

12月定例議会の一般質問は、13名の議員が31項目について行いました。

◆菱沼あゆ美 議員

- 学校施設における防災について
- 保健事業について

◆黒須大一郎 議員

- 太陽光の2019問題対応を急げ
- 認知症に対する支援体制の充実を
- その時どうするの。避難所運営と健康管理は
- 2030年(12年後)白岡の教育について

◆高木隆三 議員

- 犬猫の殺処分ゼロ対策を
- 結核対策について
- 乳幼児の家庭内事故について

◆江原浩之 議員

- 白岡駅西口線について
- 市の公共施設のマネジメントについて

◆井上日出巳 議員

- 行政評価制度について
- 農業問題について
- SAITAMA出合いサポートセンター(恋たま)について

◆大島 勉 議員

- ICT教育について
- 防災について

◆関口昌男 議員

- 生活困窮世帯の子どもの学習支援事業を小学生まで拡大を
- 国民健康保険財政のこれからについて

◆遠藤 誠 議員

- 市民農園に荒廃農地を保全することはできないのか
- アクティブシニア活躍支援事業後のシニアの受け皿について(シルバー人材センター、社会福祉協議会)
- 自分以外の「ふるさと」も尊重するなど

◆石原富子 議員

- 白岡高等学校を更に地域で盛り上げるために
- 手話言語条例の制定について
- 生涯学習センター(こもれびの森)の活用について

◆松本栄一 議員

- 多面的機能支払交付金事業について
- 生活道路の安全確保について

◆大倉秀夫 議員

- 小学生にランドセルの無償貸与を
- 白岡駅西口の開発計画について

◆渡辺聡一郎 議員

- 街の将来像を踏まえた計画的な道路整備を
- 大規模事業と財政計画について

◆斎藤信治 議員

- 授業のUD化推進を

※1人につき2項目までを要約して掲載しています。



菱沼あゆ美 議員
(公明党)

問

小・中学校が避難所となるためには

災害時、小・中学校は避難所となる。地域住民のためや学校再開を考慮した施設開放・鍵の管理手法などを盛り込んだ「学校施設利用計画」を策定すべきではないか。また、体育館のエアコン設置と誰でも使える多目的トイレへの改修は、必然の備えと考えるがどうか。

答

学校施設の効果的な活用を図る

関係部署および各小・中学校と協議・調整しながら、教育活動の再開を見据えた学校施設利用計画を策定していく。体育館へのエアコン設置については、近隣市町の動向を注視する。体育館トイレについては、多目的トイレを含めた洋式化に向け努力する。

問

新生児聴覚検査に助成を

新生児1000人に1~2人の割合で発症する先天性難聴を早期発見・早期療育につなげるために、聴覚のスクリーニング検査がある。受診の現状は。また、久喜市が検査費用の助成を開始する。白岡市としても重要な検診であることから、助成をおこなってはどうか。

答

他市町の状況を注視していく

検査については、赤ちゃん訪問において確認しており、9割近くのお子さんが出産した産科医療機関で実施している。また、各健診において問診などを通じ聞こえの問題に関して早期発見に努めている。費用の助成については他市町の状況を注視していく。

